

登録番号	20252
作品名	川崎医療短期大学体育館
実用製品	4257D② 3050E 30E ファイアライト クラスタルレイ 異型コーナースタム



コメント

この多用途の施設の出発点、「人の動きの定常しずらい空間作り」であった。それを実現させるため、1階に多目的講堂室、2階にメインアリーナを持つ主棟敷地に対して、貫通するアプローチ空間をガラスのスクリーンによるロビーとして築き上げ、中庭を起つ橋かけを構成とした。ここでは、目的時間以外の休場や昼食時間でも、流のゆるやかな流れが感じられ、訪う人によって開放かつ静謐であるより、また、内からの動きが伝達見える見通しの良い空間作りを重視した。ロビー空間は、ガラスと覆いの壁をイメージしたガラスアロケットのスクリーンを壁紙の経路として、敷地内を貫通させた新設の「ガラスブリッジ」によって内内空間を形成し、空間の流動性の高い「場」を創出した。

